

授業科目	基礎看護学 目的・対象論	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次前期	1 単位	講義	30 時間
到達目標	1. 看護の基本概念及び、役割と機能を理解する					講師
	2. 看護の歴史的変遷を理解する。					専任教員
3. 看護の対象となる人間を統合体として理解する						
授業計画						
1 回	全体オリエンテーション、看護の概要					
2 回	看護とは 看護の歴史的変遷					
3 回	看護の定義と概念、看護の役割と機能					
4 回	看護実践と質保証に必要な条件					
5 回	看護の継続性と連携、多職種チーム					
6 回	看護の対象の理解① ころとからだ					
7 回	看護の対象の理解② 発達 人間の暮らしの理解 地域社会・家族					
8 回	看護の提供者 職業としての看護の発展、看護職の資格、継続教育とキャリア開発					
9 回	理論枠組みと看護の基本概念 理論家の著書から読み取る (GW) ①					
10 回	理論枠組みと看護の基本概念 理論家の著書から読み取る (GW) ②					
11 回	理論枠組みと看護の基本概念 発表・まとめ①					
12 回	理論枠組みと看護の基本概念 発表・まとめ②					
13 回	国民の健康状態と生活 健康の概念、健康と看護、障害					
14 回	国民のライフサイクルと健康の全体像					
15 回	まとめ					
評価方法	修了試験 選択問題又は論述問題による筆記試験 (100%)					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学①看護学概論 医学書院 看護覚え書, 現代社看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 やさしく学ぶ看護理論 日総研出版					
備考	教科書で予習・復習を行い講義に臨むこと。 理論家の著書については、全体を読み理解を深めること					